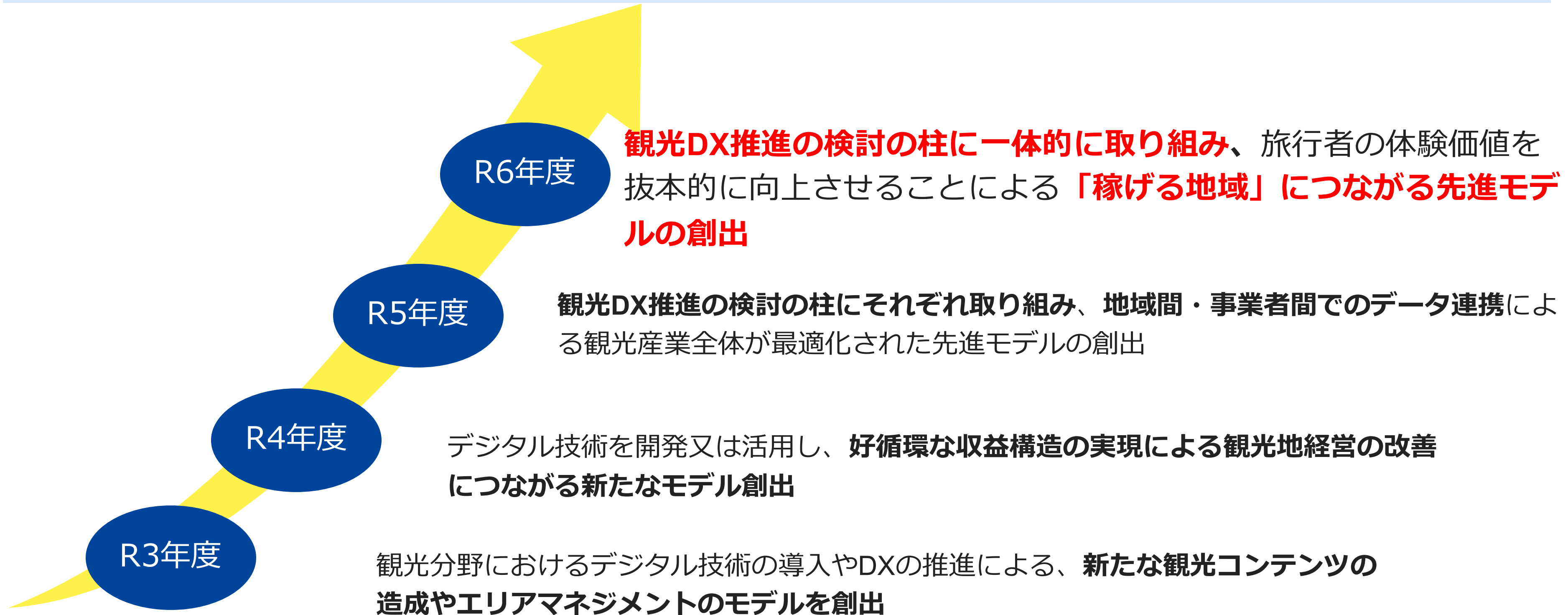


観光DXを推進するための 実践のポイント

1.観光DX事業とは

旅行者の消費拡大、再来訪促進、観光産業の収益・生産性向上等を図り、稼ぐ地域創出に向けて観光分野のDXを推進しています。



2.観光DX事業に取り組んだ地域

R6年度は6地域が採択され、「**稼げる地域**」につながる**先進モデルの創出**に向けて取組を行いました。

<R6年度事業>



① 北陸インバウンド観光DX推進事業
(富山県、石川県、福井県)



② 「蹴球都市」藤枝のDXによる生産性向上事業
(静岡県藤枝市)



③ 「奈良観光DXPF」による周遊及び地域経済循環促進事業
(奈良県)



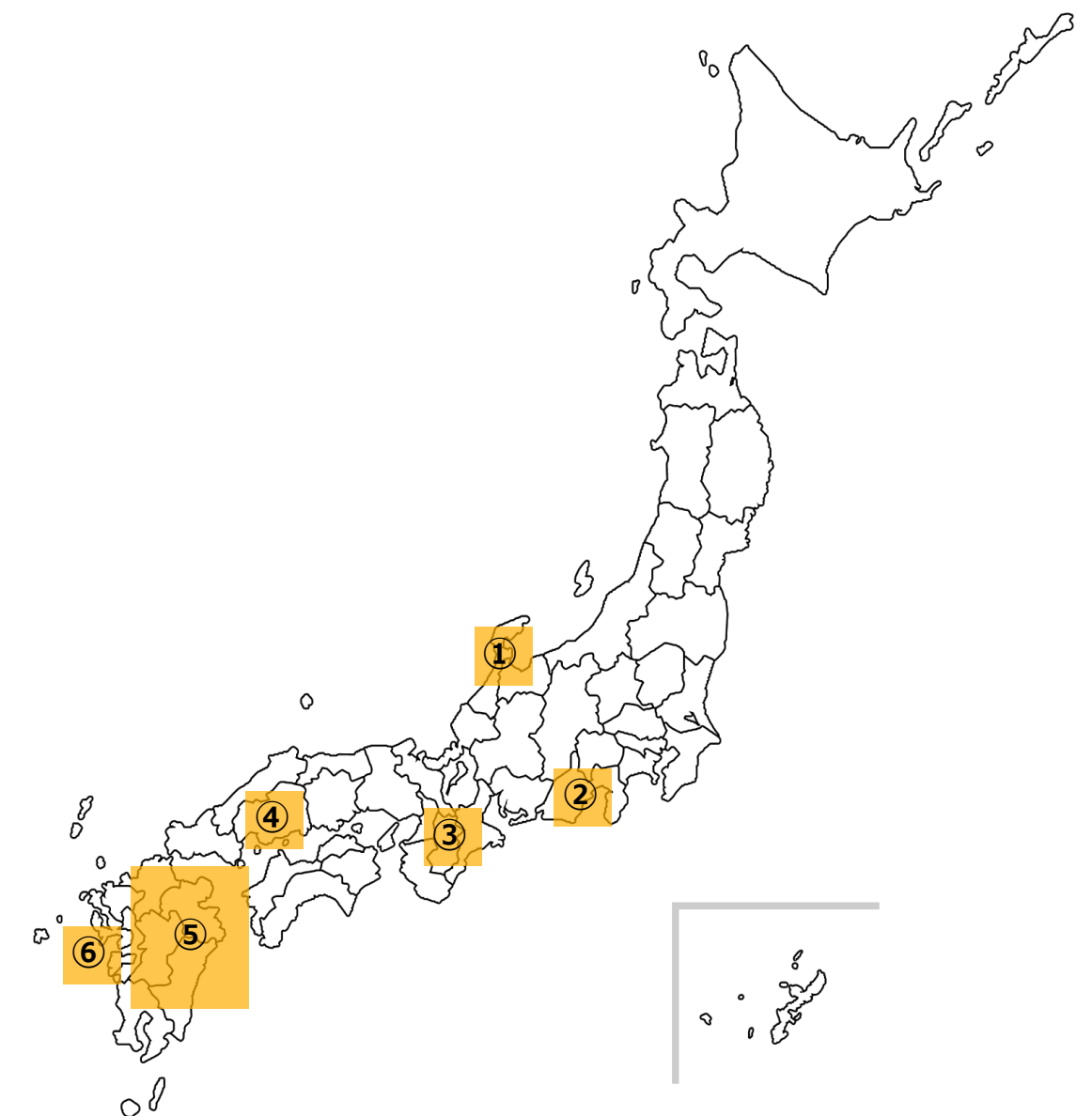
④ 広島県観光DX推進事業
(広島県)



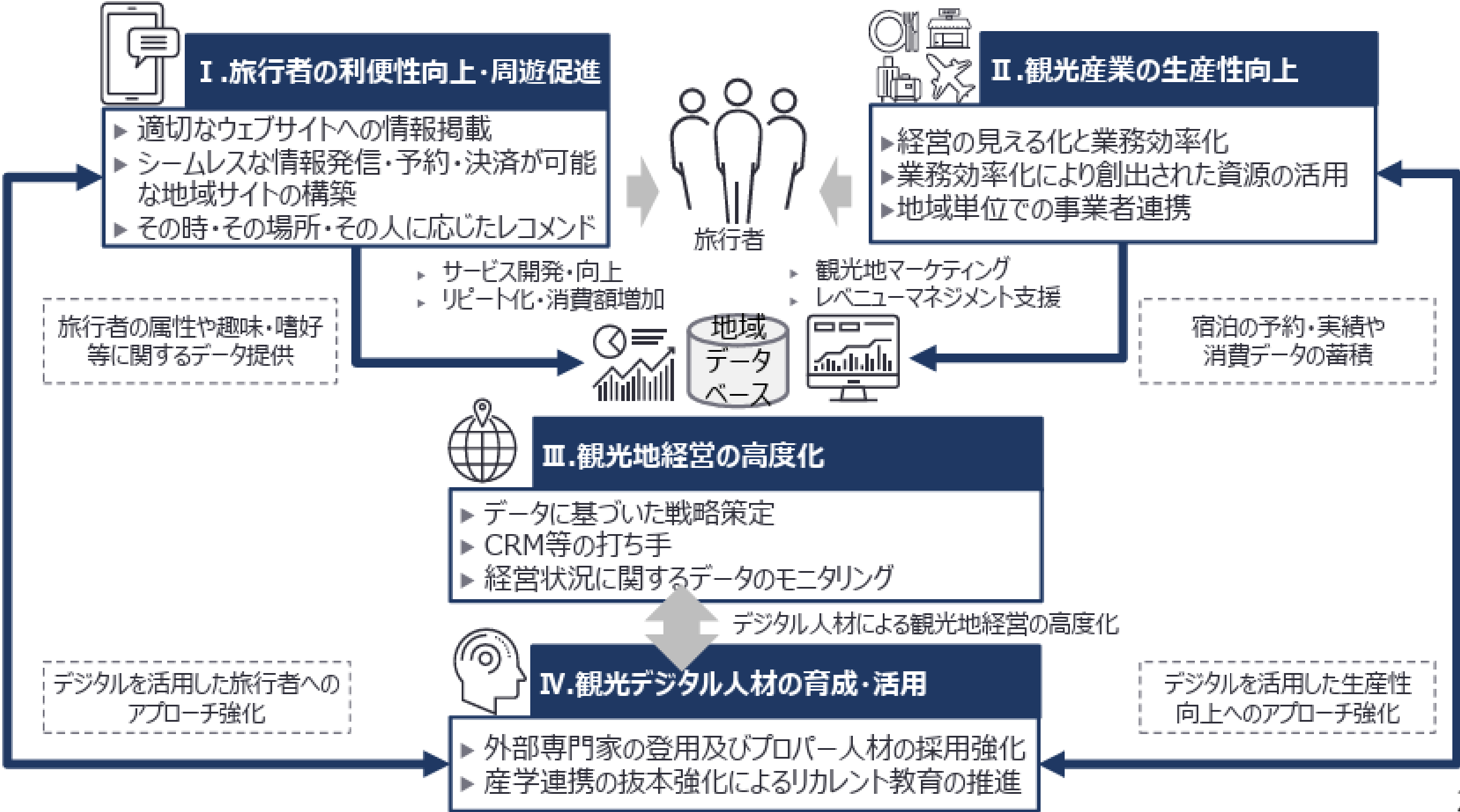
⑤ わくわく観光プロジェクト～九州DXアイランド構想～
(福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県)



⑥ 雲仙市観光全域データオープン化活用事業
(長崎県雲仙市)



観光DX推進の4本柱への一体的な取組



プロジェクト体制と進め方

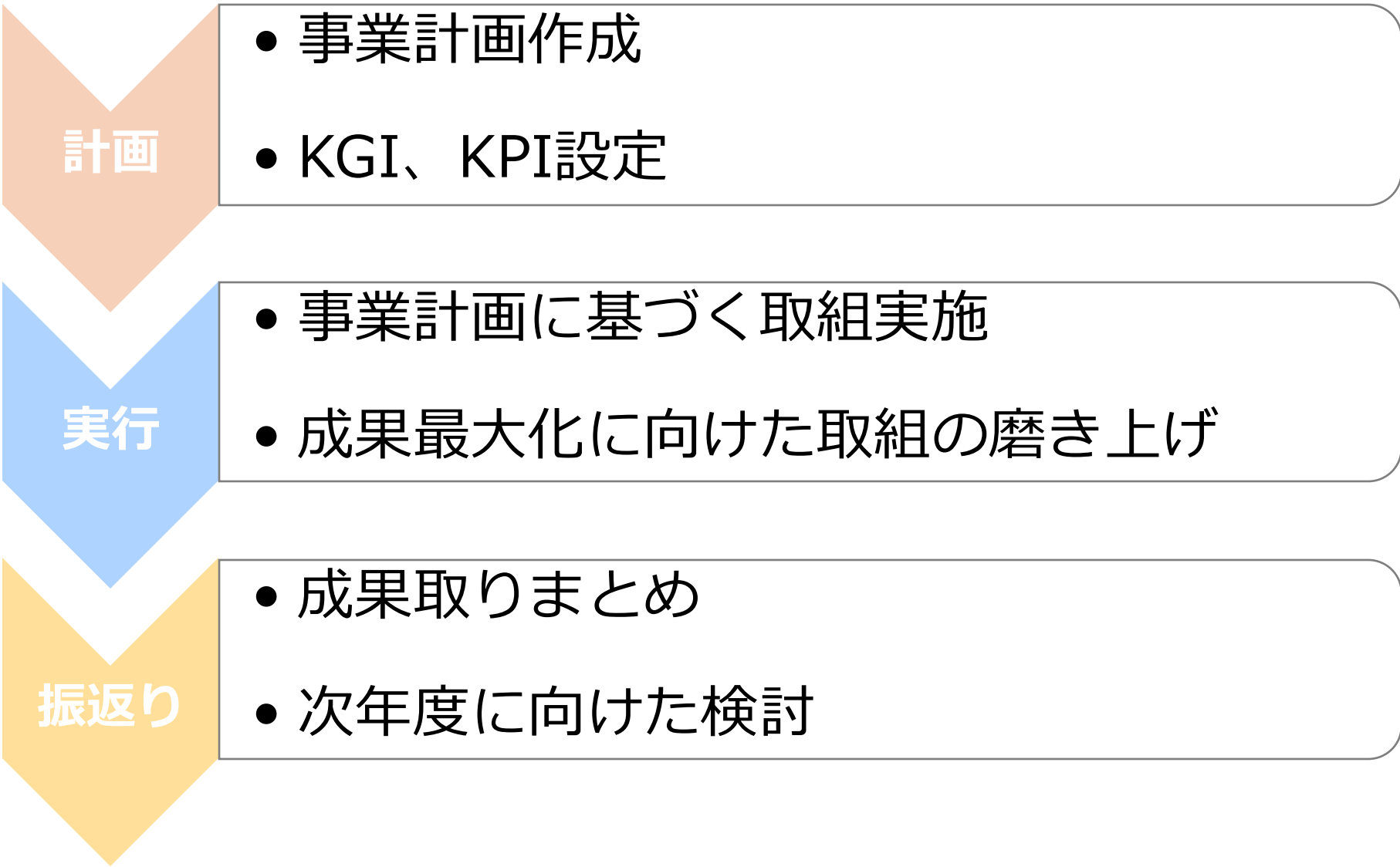
<プロジェクト体制>



地域一体で取り組む！

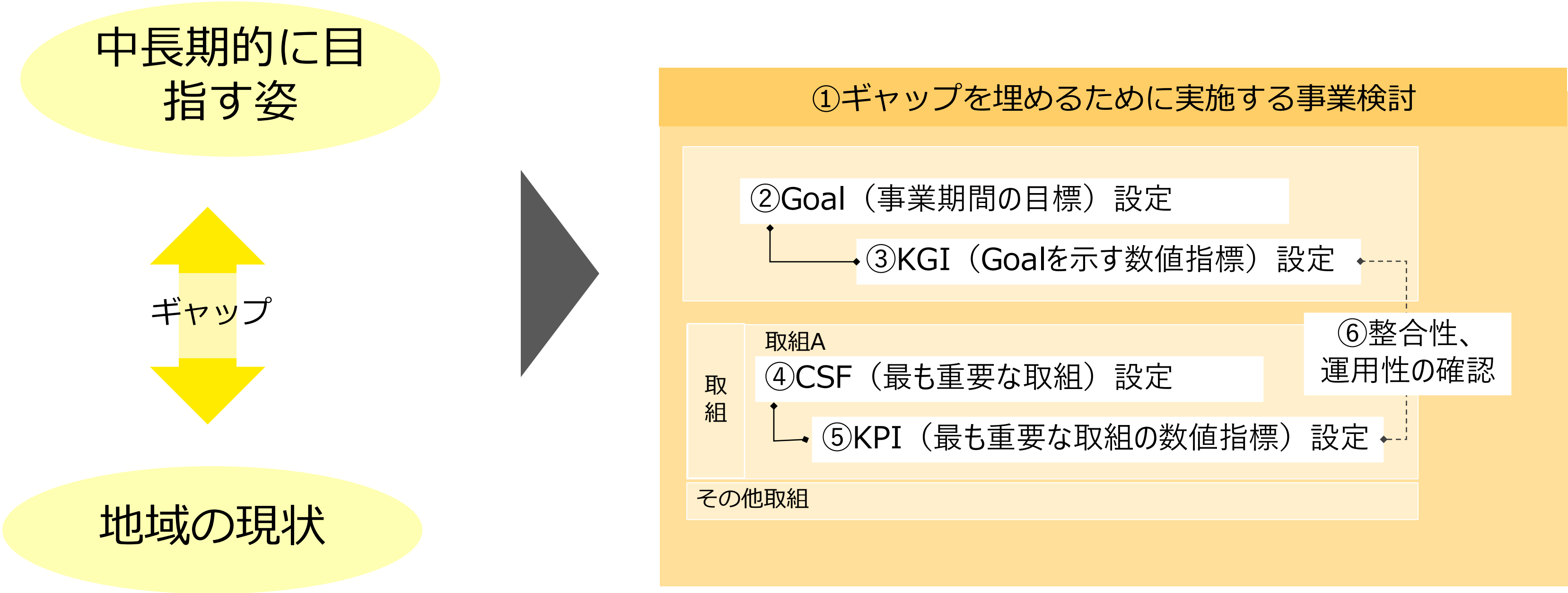


<進め方>



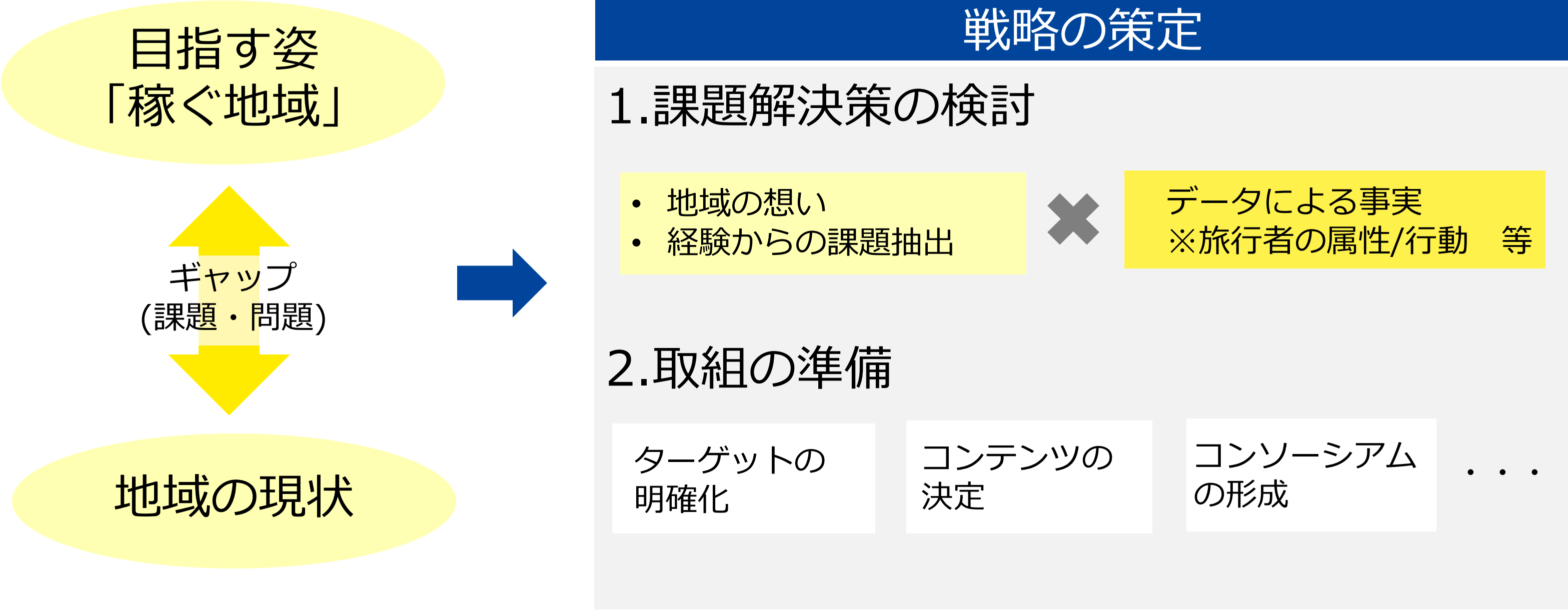
プロジェクト体制と進め方

<目標設定のステップ>



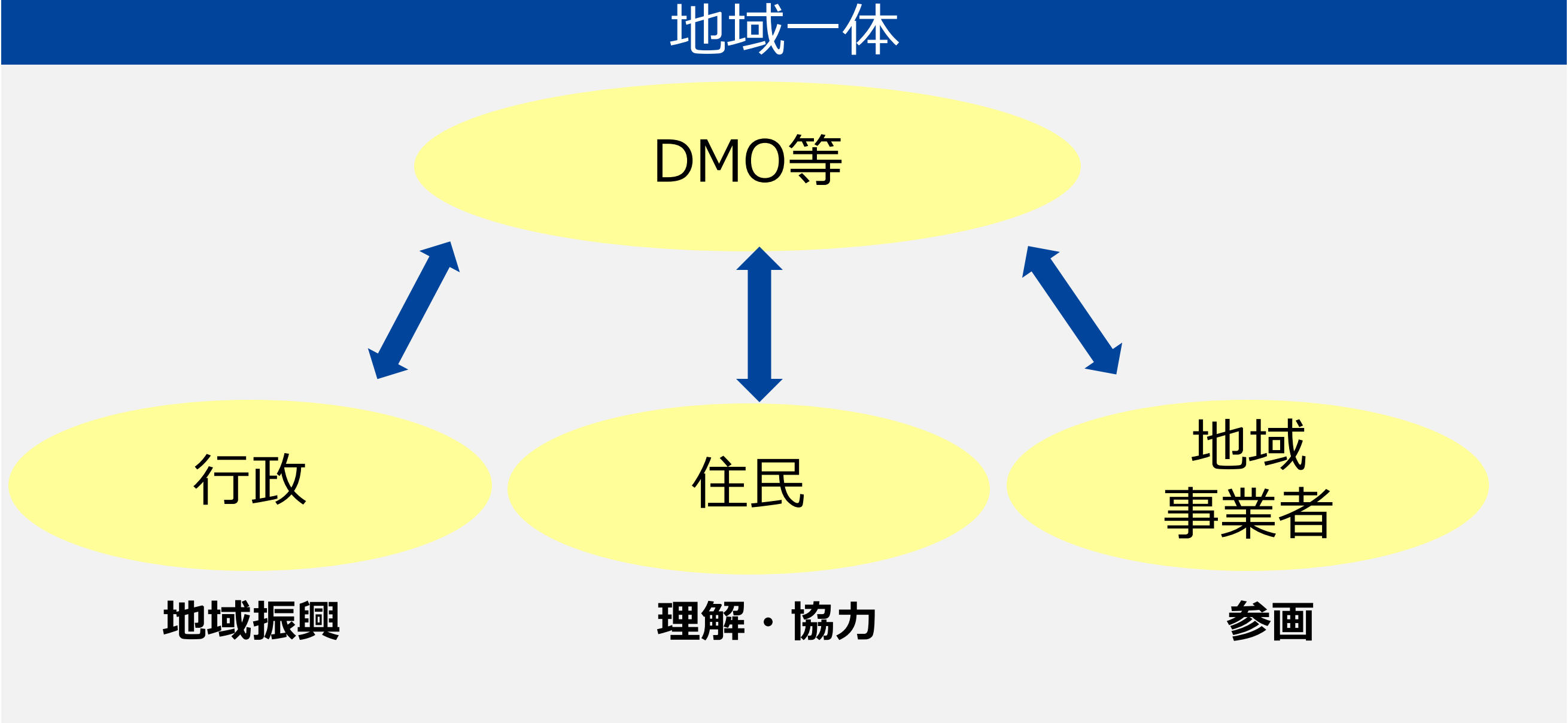
4.観光DXの実践のポイント

① 地域によるデータに基づいた戦略策定



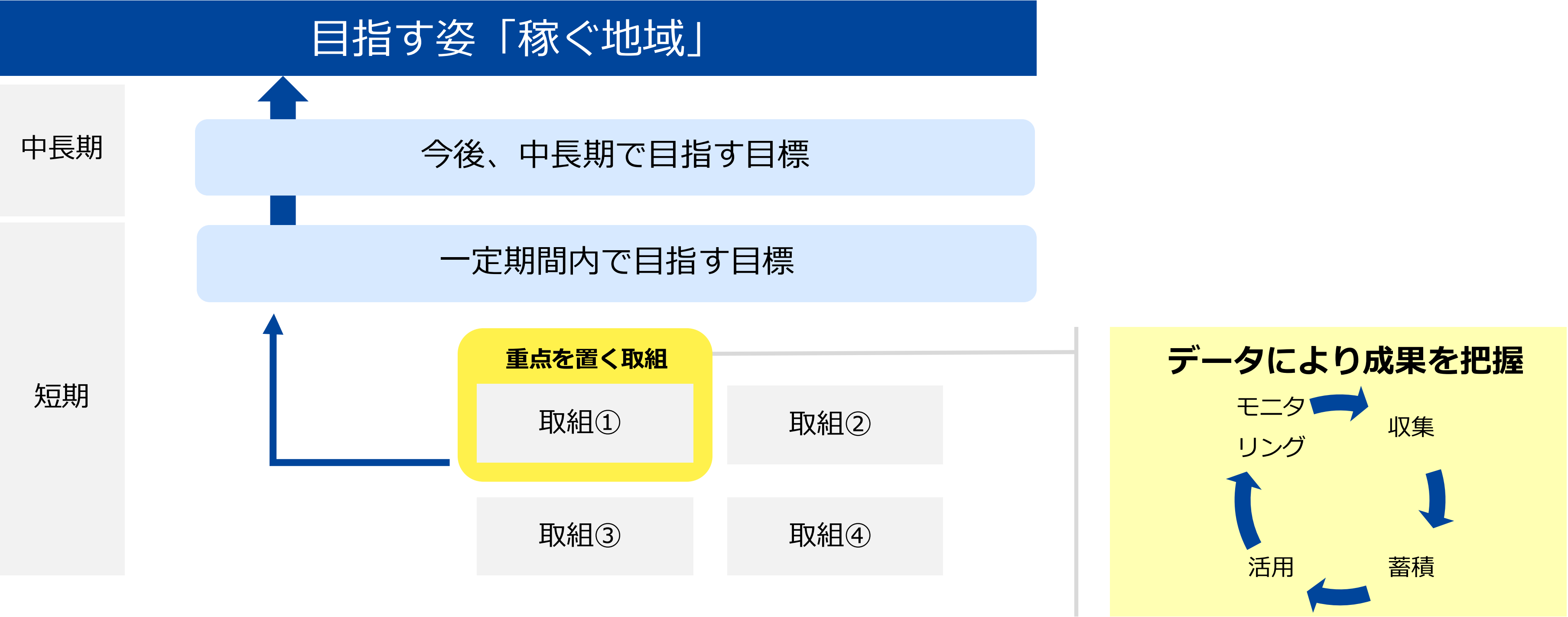
4.観光DXの実践のポイント

2 地域内の合意形成



4.観光DXの実践のポイント

3 目指す姿に向けたプロジェクト推進



5.R6実証事業取組紹介

TIME	事業者名	ポイント
13:20～ 14:00	藤枝ICTコンソーシアム	データを活用した事業者からの戦略的な情報発信による地域消費拡大
14:00～ 14:40	九州観光DXコンソーシアム	生成AIレコメンド機能を活用した広域周遊の促進
14:50～ 15:30	雲仙市観光データオープン協議会	地域サイトを活用した情報発信・販売の強化や地域一体でのデータ活用による雲仙エリアの消費の最大化
15:30～ 16:10	広島県観光DX推進協議会	OTA等のデジタルツールの活用による観光施設の生産性向上や、旅行者の利便性向上・周遊促進に取り組み、県全域での消費拡大
16:20～ 17:00	「なら観光DXPF」実装チーム	地域金融機関と連携した事業者の地域サイト参画支援、掲載商品の販売促進を行うことによる事業者の収益・生産性向上
17:00～ 17:40	北陸インバウンド観光DX・データコンソーシアム	北陸 3 県で連携したインバウンド旅行者のデータ収集・オープンデータ化、当該データを活用した施策検討